

平成 22 年 5 月 26 日

平成 22 年度第 1 回
いわき市食育推進委員会議事録

平成 22 年度第 1 回いわき市食育推進委員会 議事録

1 開催日時： 平成 22 年 5 月 26 日（水） 14：00 ～ 15：30

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3 階会議室

3 議事案件及び発言内容等：

(1) 開会

(2) 議事

① 平成 21 年度食育に関するアンケート調査結果について

委員長	はじめに、「平成 21 年度食育に関するアンケート調査結果について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 1 に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

② 平成 21 年度食育関連事務事業の評価結果について

委員長	続いて、「平成 21 年度食育関連事務事業の評価結果について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

③ 平成 22 年度食育関連事務事業について

委員長	続いて、「平成 22 年度食育関連事務事業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)

委員 長	<p>事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p> <p>また、各委員の所属団体等における、食育関連の取り組みについて、紹介いただきたい。</p>
委員 長	<p>当大学においては、学生の規則正しい生活、朝食の摂食を進めるため、前期と後期のそれぞれの学期の始めに、学生食堂において、「ワンコイン朝食」を実施している。</p> <p>通常 350 円であるが、そのうち、250 円を父母会が負担し、100 円で提供している。</p> <p>好評なので、今後も継続していきたい。</p>
委員 A	<p>小川の郷「食の文化祭」を実施しており、今年で4年目を迎える。地域の住民などから、家庭料理、地元料理など1品を出品してもらい、豊かな地域づくりを推進している。</p> <p>これまでに約 230 品が出品されているが、今後は、その中から小川地域ならではの「看板メニュー」に繋げていきたい考えである。また、「郷土食を作る会」の取組みは、会員などが、講師となって、公民館で開催しているが、最近では、男性の参加者もあり、活動に広がりが出てきている。</p>
委員 B	<p>「いわき地区生活研究グループ」の取組みとしては、グループ内で考案したメニューを活かし、公民館で実施する、料理・漬物教室に参画している。</p> <p>また、いわきの農産物を使った料理教室、三和のスローフード教室へも参画している。</p> <p>今後も、市の支援を受けながら、スローフード教室等を通じ、地域の方々に郷土料理を普及していきたい。</p>
委員 C	<p>市内の保育所は、市立 38 施設、私立 24 施設あり、それぞれの保育所において、工夫を凝らした、食活動を進めているところである。</p> <p>また、給食関係の事業としては、専門の講師を招き、年2、3回職員に対し、給食のあり方について、研修会を実施し、知識・技術の向上に努めている。</p> <p>今後は、食生活の調和を図る観点からも、市立保育所等の取組みなども参考にしながら、様々な取組みの充実に努めていきたい。</p>

④ 福島県食育推進計画の見直し内容について

委員 長	<p>続いて、「福島県食育推進計画の見直し内容について」事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(資料に基づき説明)</p>

委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いする。
委員 D	資料中の「地域産業の6次化」とはどのようなことを意味するのか。
事務局	一般的に農業・水産業などを「第1次産業」、製造業などを「第2次産業」、サービス・流通業などを「第3次産業」と言われているが、それらの産業の相互の連携を一層強化し、付加価値を高め、いく取組みを称して「地域産業の6次化」と表現しているものと認識している。

⑤ 食育モデル事業の展開について

委員 長	続いて、「食育モデル事業の展開について」事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料に基づき説明)
委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いする。
委員 E	現代において、子ども達が自分で食べられる力を培うことは非常に重要となっており、食育を通じ、「知育・徳育・体育」の3本柱の成長を促す上で、「ふれあい弁当デー」の実施は大変歓迎されることである。
委員 B	高齢者の中には、野菜を作ることが生きがいになっている方もいるので、今後は、食育の観点から高齢者が元気になれる施策についても検討が必要ではないか。
委員 F	「ふれあい弁当デー」の取組みについて、子ども達は非常に関心を寄せている。 子ども達の中では、自分で作った野菜を弁当に取り入れるなど、いろいろ模索しており、非常に気運は高まってきている。
委員 長	資料5のP4・5については、事業名に(案)が付されているが、どのような主旨か。

事務局	お質しの「案」については、平成 21 年度にワーキンググループから提出された案（イメージ）であり、今後、さらに、事業内容についての詳細な検討が必要な計画となっていることから、「案」という形で、今回提示させていただいた。
委員長	今後モデル事業をどのように展開させていくのか。
事務局	今回、委員の皆様にも、本市の特性を活かした「モデル事業」について、自由な発想でご提案いただき、資料 5 に示した、「今後のスケジュール」に沿った協議・検討を重ねていきたい考えである。
事務局	「モデル事業」については、先に開催した、いわき市食育庁内推進会議においても、事業計画等の提出について依頼している。 食育は幅広い分野が関わるものなので、各分野のスペシャリストである委員の皆様から、今後、あらゆる視点から意見等をいただきながら、各種分野の事業融合などを考察しつつ、本市の特性を活かした「モデル事業」の現実に向け、協議・検討を重ねていきたいと考えている。
委員 A	「メタボリックシンドローム対策メニュー提供」の「4 事業内容」のうち、市内民間事業所等における当該事業の普及啓発については、事業者が当該事業について積極的に取り組む姿勢を見せた場合は、対応していくのか。
事務局	今回の事業については、市内事業所に対する普及を目標としていることから、事業所からの要望があれば、出前講座等を通して対応していきたい。
委員 A	対応については、仮に、事業所だけではなく、地域住民から同様の申し入れがあった場合についても対応するとの理解でよいのか。
事務局	地域住民からの要望についても、事業者と同様の対応をしていきたい。
委員 E	「ふれあい弁当デー」については、地産地消の観点から、地元の食材を 1 品入れて実施するなどし、食育を推進していくのもひとつの手法であると考えている。

⑥ その他

事務局	事務局より、次の事項について確認・依頼した。 ア モデル事業の提案については、6月25日まで事務局に提出いただき、8月下旬開催予定の第2回食育推進委員会において、協議いただくこと。 イ 第2回食育推進委員会の日程等については、事務局で調整後、速やかに、各委員に連絡すること。
-----	---

(3) 閉会

以 上